

平成18年度子どもヘルパー・ジュニアヘルパー任命式

4月17日（月）、基幹集落センターにおいて、来賓並びに協力団体多数のご参加をいただき、平成18年度子どもヘルパー・ジュニアヘルパー任命式を開催しました。

本年度は、山鹿小学校11名、北部小学校5名の新4年生16名と、産山中学校生徒代表者へ、佐藤敬助社協会長（村長）より、子ども・ジュニアヘルパー任命書を手渡されました。

今回任命を受けた子どもヘルパーを代表して、山鹿小4年古閑一樹くんから「子どもヘルパー活動でお年寄りとお話を楽しみにしていました。掃除や草取りで、困っている事を一生懸命お手伝いします。」と力強く発表してくれました。6月の活動より高齢者を見守るネットワークの一員として、地域の協力員と一緒に、小学生と中学生が力をあわせて、独居・高齢者世帯を訪問し、掃除や話し相手を通して交流を深めていきます。



子どもヘルパーの一員としてガンバってください。



山鹿小学校新ヘルパー（4年生）



北部小学校新ヘルパー（4年生）



社協だより

平成18年
第144号

発行者
産山村
社会福祉協議会
☎23-9300



隊員の説明を真剣に見つめる子どもヘルパー



人形相手でも緊張します。（心肺蘇生法）

第1回子どもヘルパー・ジュニアヘルパー合同研修会

4月24日（月）、産山中学校体育館において、子どもヘルパー・ジュニアヘルパー合同研修会を実施しました。今回の研修会では、ヘルパー活動時のケガや病気等の緊急時に対応できるように、産山・波野分駐所（下城所長）の協力で、救命救護の基礎知識や実技（心肺蘇生法）

を学習しました。実技では、児童・生徒が消防隊員の指導を受けて、実際に人形を使って気道の確保や、心臓マッサージを体験しました。救命救護は迅速な対応が望まれ、緊急時の対処法など、子ども達にも出来る救命救護を学習することができました。

ふれあいで、育てよう
ふくしの心